



2018年1月24日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

大成株式会社

けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合

ブルーイノベーションが、大成、ATR/NVCC と業務・資本提携 T-FREND の更なるサービス、BEP (ブルーアース・プラットフォーム) の開発を加速

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都千代田区、社長:熊田 貴之、以下、ブルーイノベーション)は、大成株式会社(本社:名古屋市中区、社長:加藤 憲司、以下、大成)、けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合(以下、けいはんな ATR ファンド)を引受先とする第三者割当増資を実施いたしましたことをご知らせいたします。

今回の業務・資本提携により、ブルーイノベーションは大成と共同で T-FREND(*1)の更なるサービス開発に取り組み、また、株式会社国際電気通信基礎技術研究所(本社:京都府相楽郡、代表取締役社長:浅見 徹、以下、ATR)と共同で、BEP (Blue Earth Platform:ブルーアースプラットフォーム)を、ATR が長年開発してきた UNR Platform(*2)を 3 次元に拡張して応用し、開発を加速させます。なお、BEP は、T-FREND のシステムにも活用されます。

■「T-FREND」の開発取組みと BEP について

ブルーイノベーションは大成と共同で、屋内ドローンを利用した社員健康管理サービス「T-FREND」の開発を行っています。

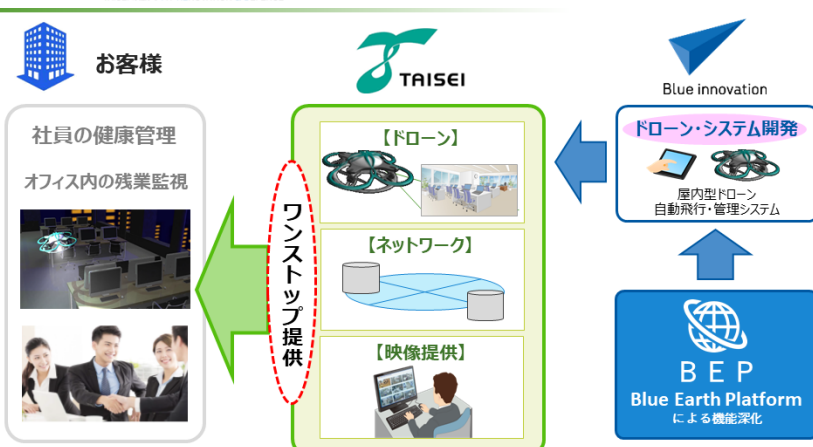
今後、ビルメンテナンス業を含む各産業でのドローンの活用が期待されており、ドローン市場の盛況が予想されます。そのような背景の中、大成のビルメンテナンスに関するノウハウとブルーイノベーションの技術力の融合によるシナジー効果で業容拡大を行い、ビルメンテナンス業界におけるドローン・ロボット活用の先駆者として

他社との差別化を行うべく、協力関係のさらなる強化および開発の促進を目的として、資本提携を実施します。

今後、T-FREND は、物流倉庫や工場などオフィス以外でのサービス展開を想定し、障害物検知・迂回飛行、自動充電ポート、暗闇での巡回飛行について、BEP をベースに開発を加速していきます。

「いつでも、どこでも、ドローンがある便利で安全な暮らし」を目指し、更なるサービス創出に取り組んでまいります。

T-FREND ワンストップ・サービス



■BEP（Blue Earth Platform：ブルーアースプラットフォーム）開発取組みについて

<開発のねらい>

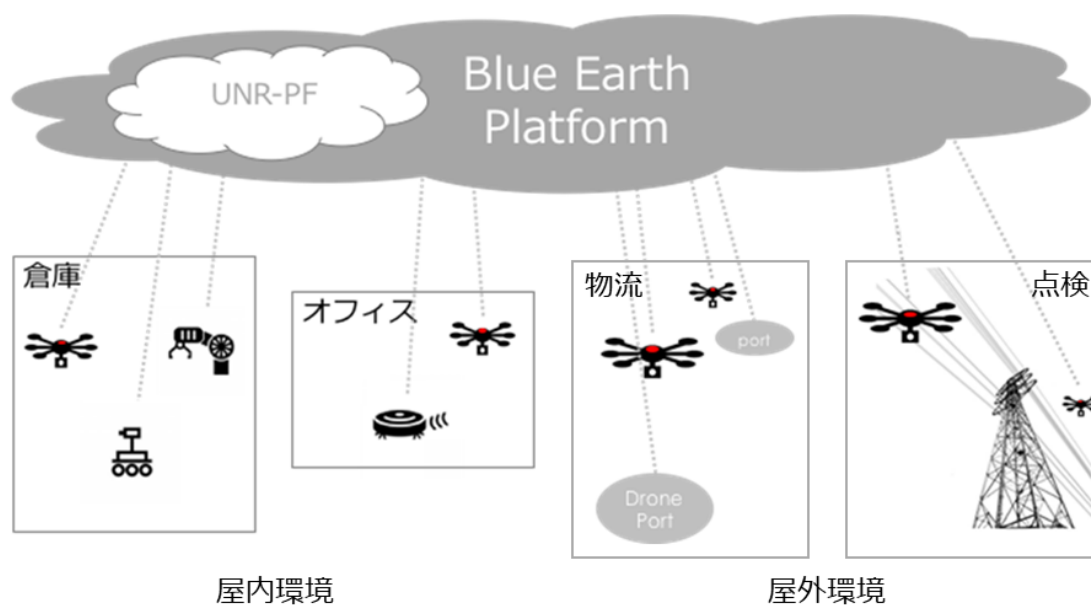
無数のドローンが上空を飛び交い、人々の暮らしを支えるインフラとなる社会は、もう間近に迫っています。ブルーイノベーションでは、来るべき「ドローンによるオートメーション化社会」の実現のために、ドローンの属性情報、各種センサから得られるデータを一元的に統合管理し、AIを活用した最適業務が遂行できる基盤プラットフォームである BEP の開発に取り組んでいます。

<BEP の特長>

Blue Earth Platform（BEP）は、複数のドローンやロボットを協調・連携させて複雑な業務を達成させるためのソフトウェアプラットフォームで、ブルーイノベーションと ATR が共同で開発しています。ATR がこれまで開発してきたユビキタスネットワークロボットプラットフォーム（UNR Platform）の概念に基づき、複数のドローンやロボットの自動制御、共通で利用する情報の統合管理などを行います。任意の地図情報や物体の位置情報、そしてそれらオブジェクトの属性情報を統合・管理することによって、業務の達成をスマートに実現します。

更に BEP は「One Command Full Mission」をテーマとしており、複数のドローンを毎回煩雑なドローンの設定や操作をすることなく、ひとつの指示で自動的に業務を達成できることが可能になります。そのためドローンを活用する利用者が、効率の高い業務を遂行する事を目的としております。

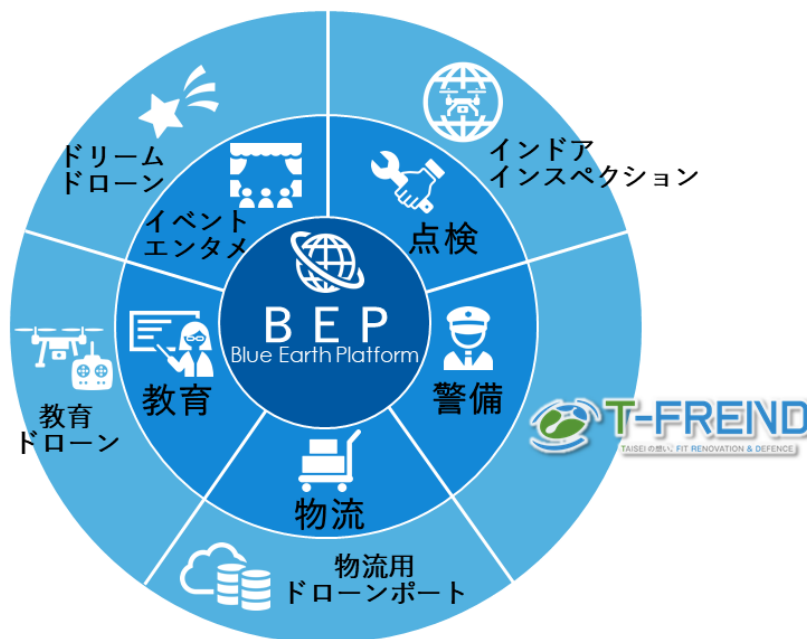
例えば、BEP では一般的な地図情報や、活用したい機器の位置情報、倉庫の在庫情報、ドローンに必要な気象情報など、業務に必要な情報を統合し、様々なデバイスをフル活用しながら、業務の実行と正確なモニタリングに必要な環境を提供します。



One Command Full Mission のイメージ

■BEP を軸にした、ドローン新サービスの創出

ブルーイノベーションは、この BEP を軸に、下図にあるように、今年 5 つのサービスを展開する予定です。一つは、社員健康管理および警備サービス「T-FREND」です。二つ目は、屋内点検サービスです。三つ目は、教育向けサービスです。四つ目は、エンタメサービスである「Dream Drone」です。五つ目は、「物流用ドローンポート」を軸にした物流サービスです。いずれのサービスも、BEP の技術が内蔵されており、強力でサービスをサポートします。各サービスは、3 月以降に、順次発表予定です。



BEP を軸にした、ドローン新サービスの創出

*1 「T-FREND」は残業抑制を目的とした、屋内ドローンを利用した社員健康管理サービスです。業界で初めて屋内飛行を実用化、操縦者・GPS に頼らない自律飛行システム、高度なセキュリティ画像システム等、ワンストップのサービスを本年 10 月より開始いたします。

*2 UNR Platform

ロボット、スマートフォンアプリ、環境センサがネットワークを介して連携して、人々にサービスを提供するためのソフトウェアプラットフォーム。ATR が受託した総務省委託研究「ネットワーク・ヒューマン・インターフェースの総合的な研究開発(ネットワークロボット技術)」、「ライフサポート型ロボット技術に関する研究開発」、「ユビキタスネットワークロボット・プラットフォームによる介護施設における高齢者の見守り・移動支援サービス実証事業」の成果。

■ブルーイノベーション株式会社 会社概要

社名：ブルーイノベーション株式会社

URL：<http://www.blue-i.co.jp/>

所在地：東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 4F

代表：代表取締役社長 熊田貴之

設立：平成 11 年 6 月 10 日

事業内容：ドローンパイロット支援事業（教育事業、ドローン専用地図サービス）、法人向けサービス事業（ソリューション開発サービス）、公共向けサービス事業（研究開発、JUIDA の運営業務）

■大成株式会社 会社概要

社名：大成株式会社

URL：<http://www.taisei-bm.co.jp/>

所在地：名古屋市中区栄 3-31-12(大成ビル)

代表：代表取締役社長 加藤 憲司

設立：1959 年 10 月 2 日

事業内容：ビルメンテナンス業、警備業、駐車場の管理、建築・土木工事全般に関する請負、労働者派遣事業、太陽光発電事業、建物・公共施設等の運営管理に関する請負ならびにコンサルティング

■株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 会社概要

社名：株式会社国際電気通信基礎技術研究所

URL：<http://www.atr.jp/>

所在地：京都府相楽郡精華町光台二丁目 2 番地 2(けいはんな学研都市)

代表：代表取締役社長 平田 康夫

事業内容：脳情報科学、ライフ・サポートロボット、無線通信、生命科学などの情報通信関連分野における研究開発及び事業化

■けいはんな学研都市 ATR ベンチャーNVCC 投資事業有限責任組合について

ATR が有する技術シーズの 事業化を目的に、日本ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：奥原主 一、以下「NVCC」）が無限責任組合員として 2015 年 2 月に設立したファンドで、株式会社産業革新機構をはじめ、株式会社新生銀行、株式会社京都銀行等の民間金融機関や住友電気工業株式会社、KDDI 株式会社等の事業会社が出資を行っています。

■日本ベンチャーキャピタル株式会社(NVCC) 会社概要

社名：日本ベンチャーキャピタル株式会社

URL：<http://www.nvcc.co.jp/>

所在地：東京都千代田区丸の内 2 丁目 4 番 1 号 丸の内ビルディング 34 階

代表：代表取締役社長 奥原 主一

事業内容 ベンチャーキャピタル業

【本件のお問い合わせ先】

会社名 ブルーイノベーション株式会社

電話番号 03-6801-8781

E-mail press@blue-i.co.jp

担当窓口 遠藤